

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策	3	生涯学習の推進
施策	5	生涯学習
基本方針		
だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
生涯学習コーディネート機能の構築	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
旧下田家住宅およびその生活用具の修復	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
大学との連携による講座の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
企業等との連携による生涯学習事業、芸術鑑賞事業の実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
スポーツを通じた健康づくりの推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
社会教育関係団体の活動の充実にに向けた支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
市民ボランティアの育成と支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策5「生涯学習」では、11事業について評価を実施した。

進捗状況については、「生涯学習コーディネート機能の構築」は、生涯学習コーディネータの組織化に向けたスキームの構築について、生涯学習推進懇談会等の意見を踏まえた総合的な検討を行う必要があるため、「計画を見直して完了」と評価しているほか、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進」などの10事業は「計画どおり完了」で、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)として評価している。

これらを踏まえた結果、施策5「生涯学習」については、取組内容は順調に推移している。

本施策の基本方針は、「だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備すること」であり、「生涯学習コーディネート機能の構築」では、学習活動で得た専門知識・技能・豊富な経験などを地域社会で生かすためのコーディネート機能の構築についての検討を進めたほか、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施」においては、東京2020大会を契機としたスポーツへの関心やスポーツ習慣の定着を図るため、市民の方を対象としたスポーツ教室等を開催するとともに、伝統文化交流事業や羽村市文化祭などについて、積極的に公認プログラムとして承認を受け実施をすることで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図ることができた。

また、「大学との連携による講座の充実」では、大学と連携し、専門性の高い講座を開催することで、市民の学習要望に応え、さらに学習意欲を高めることができたほか、「企業等との連携による生涯学習事業、芸術鑑賞事業の実施」では、プロやその道に精通した出演者等による演奏や舞台・講座を通じて、文化活動の醸成・発展に取り組むことができ、市内企業との連携により企業と住民の相互理解を深めることにもつながった。

さらに、「生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進」では、会員である市民の経験や知識等が企画や運営に生かされ、市民のニーズに即した事業展開ができており、行政の視点と市民の視点が融合した生涯学習を推進しているなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部		生涯学習総務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 生涯学習コーディネーター機能の構築		平成 29 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	29

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	生涯学習コーディネーターを養成し、学習活動で得られた専門知識・技能・豊富な経験などを地域社会で生かせるよう、学習成果の提供と利用をコーディネートする機能を構築します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	生涯学習コーディネーターの組織化に向けた検討	同左 ※事業を検討する中で事業費算定 関係例規の整備	生涯学習コーディネーターの人材育成と組織化	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	40H	1人	30H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	1人	10H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	150	199	150	50
人件費(主任・主事職)	67	67	67	34
総事業費(合計)	217	266	217	84
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	217	266	217	84
財源内訳(合計)	217	266	217	84

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

生涯学習コーディネータの組織化に向けた検討について、平成30年度生涯学習推進懇談会での意見を踏まえた総合的な検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
生涯学習コーディネーターの組織化に向けた検討	⇒ 平成30年度生涯学習推進懇談会での意見を踏まえ、生涯学習コーディネータの組織化に向けたスキームの構築について、総合的な検討を実施

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

学習活動で得た専門知識・技能・豊富な経験などを地域社会で生かすためのコーディネート機能の構築は循環型生涯学習を推進する上で重要な位置付けであり、学習活動の成果を生かす環境整備につながる検討ができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

生涯学習コーディネーターで組織する本部等を立ち上げ、同コーディネーター間の情報交換を目的とした会議の実施やサークルや各種講座等の講師養成講座等の実施等について検討し、同コーディネーターを中心とした循環型生涯学習を推進する。

1.基本項目		作成部署		生涯学習部		スポーツ推進課	
事業名		開始年度		実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進		年				
01	スポーツ習慣定着促進事業	平成	28年	期間設定5年	自治事務(市独自)	直営	○
02	市民体育祭へオリンピック・パラリンピアン招致	不明	年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
03			年				
04			年				
05			年				
関連課		東京オリンピック・パラリンピック準備室					
基本目標1		生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	管理No.	30

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民のスポーツの推進を図るため、東京2020大会の気運醸成に向けた取組みを推進します。また、東京2020大会を契機に、スポーツへの関心を高め、スポーツに触れる機会の少ない市民が日常的にスポーツに親しむ取組みを促すことで、市民のスポーツ習慣の定着を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	小・中学生「走り方教室」(初心者編) 延319人	同左 延400人	同左 延400人	同左 延400人
	小・中学生「走り方教室」(競技力向上編) 延139人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人
	小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹教室)」(競技力向上編) 延185人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人
	障害者スポーツのススメ! 延53人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人
	歩くことから始めよう 延28人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人
	市民体育祭へオリンピック・パラリンピアン招致	同左	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	2人	100H	2人	120H	2人	120H	2人	120H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	2,000	2,000	2,000	2,000
人件費(係長職)	498	498	498	498
人件費(主任・主事職)	666	799	799	799
総事業費(合計)	3,164	3,297	3,297	3,297
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	2,000	2,000	2,000	2,000
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,164	1,297	1,297	1,297
財源内訳(合計)	3,164	3,297	3,297	3,297

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 59 円
 イ 対象者 440 人における1人あたりのコストは、 7,493 円
 ウ 成果(物) 参加者 の 出来高 440 人 における1人 のコストは 7,493 円
 ※ 対象者: 事業の参加者

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	市民が文化スポーツの振興を通じた魅力と感動を享受していけるよう、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針」に沿って、気運醸成に取り組むこと。

②活動実績

東京2020大会を契機とし、スポーツへの関心や、スポーツ習慣の定着を図るため、小・中学生を対象とした「走り方教室」や「フィジカルトレーニング(体幹教室)」、一般市民の方を対象とした「障害者スポーツのススメ!」「歩くことからはじめよう」の事業に取り組むとともに、市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致を行い、東京2020大会の気運醸成に取り組んだ。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,000		2,000	1,062	53.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	2人	120 H	2人	120 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○小・中学生「走り方教室」(初心者編) 延400人 ○小・中学生「走り方教室」(競技力向上編) 延240人 ○小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹教室)」(競技力向上編) 延240人 ○障害者スポーツのススメ! 延60人 ○歩くことからはじめよう 延60人 ○市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致	⇒ ○小・中学生「走り方教室」(初心者編) 延294人 ○小・中学生「走り方教室」(競技力向上編) 延117人 ○小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹教室)」(競技力向上編) 延186人 ○障害者スポーツのススメ! 延79人 ○歩くことからはじめよう 延79人 ○市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、小学生から高齢者、障害者と様々な方を対象としたスポーツ教室を提供することで、スポーツ習慣の定着を図るとともに、東京2020大会に向けた気運醸成につなげることができた。

スポーツに触れる機会の少ない市民が、日常的にスポーツに親しむきっかけとなる「障害者スポーツのススメ!」や「歩くことからはじめよう」の取組みは、目標以上の参加者があった。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市民体育祭でオリンピック・パラリンピアンとの交流を通じて、東京2020大会を身近に感じながら、様々な市民スポーツを提供することで、スポーツ実施率を高め、スポーツ習慣の定着に努めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部 生涯学習センターゆとろぎ			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01	伝統文化交流事業inゆとろぎの実施	平成 25 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
02	羽村市文化祭の実施	昭和 44 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
03	関連講座等の実施	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
04		年				
05		年				
関連課		東京オリンピック・パラリンピック準備室				
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	31

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、日本の文化の魅力を再発見するためのイベントや講座などを開催します。
根拠法令	なし
条例	なし
要綱等	なし

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	伝統文化交流事業inゆとろぎの実施	同左	同左	同左
	羽村市文化祭の実施	同左	同左	同左
	関連事業の実施	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	90 H	1人	90 H	1人	90 H	1人	90 H
主事・主任職	5人	450 H	6人	450 H	6人	450 H	6人	450 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	9,622	9,890	9,890	9,890
人件費(係長職)	448	448	448	448
人件費(主任・主事職)	7,491	8,989	8,989	8,989
総事業費(合計)	17,561	19,327	19,327	19,327
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	2,000	2,387	2,387	2,387
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	15,561	16,940	16,940	16,940
財源内訳(合計)	17,561	19,327	19,327	19,327

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 347 円
 イ 対象者 55,710 人における1人あたりのコストは、 347 円
 ウ 成果(物) 来場者 の 出来高 18,000 における1 のコストは 1,074 円
 ※ 対象者: 一般市民

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラム関連事業を実施し、事業ポスターやチラシ等に公認マークを使用し広く周知することで大会への気運醸成を図るとともに、日本文化の魅力を変えて発見する機会や文化活動の発表・交流の場を創出する事業を行い、市内の文化・芸術活動の発展に寄与した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,890		9,890	8,589	86.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	90 H	1人	90 H
主事・主任職	6人	450 H	6人	450 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○伝統文化交流事業inゆとろぎの実施 ○羽村市文化祭の実施 ○関連事業の実施	○伝統文化交流事業inゆとろぎの実施 ○羽村市文化祭の実施 ○関連事業の実施(14事業)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

伝統文化交流事業や羽村市文化祭、その他関連事業を計画事業数以上に積極的に公認プログラムとして承認を受け実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図るとともに、各種事業を通じて、質の高い貴重な郷土芸能に触れる機会の提供や市民同士の交流を促すことができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も質の高い文化事業を幅広く展開し、オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、さらに市民の文化活動への参加を促し、市内の芸術・文化活動の発展と参加者同士の活発な交流を図る。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部		郷土博物館	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト		平成 29 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	その他	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	32

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	多摩川中上流域の上総層群については、河川敷などのわずかな露出部分しかなく情報が少ないうえに、地域を超えた総合調査がなされておらず、詳細な状況が把握されていないことから、これまで各自治体の博物館等に蓄積された情報を一元的に網羅するとともに、地域内の連携により、道路や公共施設、大規模工場などの建築に際して行われたボーリング調査結果などを活用し、地層群の状況を明らかにします。
根拠法令	
条例	
要綱等	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会設置規約

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト ①先行する調査研究資料の収集と分析 ②各自治体における関連情報の保有調査 ③②のデータ集約 ④地質・古生物・水質に関する調査 ⑤各項に基づく研究	同左 ①初年度からの継続事業 ②各分野のまとめ(中間報告等) ③教育支援資料の検討 ※事業を検討する中で事業費を算定	同左 ①二年度からの継続事業 ②全体の成果の総合 ③成果物の作成・実行委員会での共有化・公表	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	12H	1人	12H	1人	48H	人	H
主事・主任職	1人	12H	1人	60H	1人	60H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	4,064	4,594	-	-
人件費(係長職)	60	60	239	
人件費(主任・主事職)	40	200	200	
総事業費(合計)	4,164	4,854	439	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	4,064	4,594		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	100	260	439	
財源内訳(合計)	4,164	4,854	439	

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	87	円
イ 対象者	938,712	人における1人あたりのコストは、	5	円
ウ 成果(物)		の出来高		円
				の COST は

※ 対象者: 11自治体の人口(平成30年4月1日現在人口)

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

平成29年度からの継続事業として、露頭調査・ボーリングコア観察(地理学)、採水調査・水質分析(水文学)、他館調査・野外調査(古生物学)など、各分野の中間報告のまとめを作成した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	4,594		4,594	4,570	99.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	12H	1人	20H
主事・主任職	1人	60H	2人	70H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○各自治体の博物館や文化財担当と大学や外部機関と連携し調査分析を実施する。 ○各自治体が保有するボーリングデータの活用を図る。 ○大規模工場等について、各自治体が保有する深井戸等の露頭情報を活用する。 ○大規模開発事業等で土地の形質の改変を伴うものについて、露頭調査を行う。 ○資料館等による学習支援資料を作成し、地域・学校に還元する。	○各自治体の博物館や文化財担当と大学や外部機関と連携し調査分析を実施。 ○各自治体が保有するボーリングデータの活用を図った。 ○大規模工場等について、各自治体が保有する深井戸等の露頭情報を活用した。 ○大規模開発事業等で土地の形質の改変を伴うものについて、露頭調査を行った。 ○また、学習支援資料については、分量や内容、体裁などについて具体的に検討した。

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

調査研究プロジェクトの成果を、充実したものとして市民等へ還元できるよう、最終的な報告書について具体的な構成案を検討し、たたき台を作成するとともに、最終報告書に掲載する地質図の内容を具体的に検討し、さらに必要となるデータ等の確保・作成に着手した。また、古生物学分野については、イラスト作画等の準備を進め、一部プロトタイプ作画を試みた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

--

【今後の取組方針】

次年度は、継続事業として3年間の最終年であり、全体の成果の総合・まとめ、成果物の作成、実行委員会での情報共有化、公表を行う。また、2月には生涯学習センターゆとろぎにおいてシンポジウムを開催する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部		郷土博物館
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 旧下田家住宅およびその生活用具の修復		平成 30 年	今年度限り	自治事務	業務委託(全部)
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No. 33

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	(1)茅葺屋根および天井の修復(2)住宅各部の造作等の修復(3)生活用具(民具)のうち、損耗が見られるものの修復を行います。
根拠法令	東京都文化財保存事業費補助金交付要綱
条例	文化財保護条例・東京都文化財保護条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	旧下田家住宅修復の検討 ※補助対象の優先順位見直しによる影響	旧下田家住宅茅葺屋根の修復 旧下田家住宅デイ・ヒロマの天井修復 旧下田家住宅木工事(フロア格子・建具等の修復)	旧下田家住宅土壁全面の修復(外壁・内壁等の修復) 旧下田家住宅ダイドコロ土間等の修復 旧下田家住宅デイ畳の修復 旧下田家住宅木工事(鴨居・ひび割れ埋木等の修復)	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	12 H	1人	24 H	1人	24 H	人	H
主事・主任職	1人	12 H	1人	24 H	1人	24 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費		23,352	23,853	
人件費(係長職)	60	120	120	
人件費(主任・主事職)	40	80	80	
総事業費(合計)	100	23,552	24,053	
国庫支出金		11,676	11,926	
都支出金		5,838	5,963	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		4,700		
起債				
一般財源(人件費含む)	100	1,338	6,164	
財源内訳(合計)	100	23,552	24,053	

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	423	円
イ 対象者	28,044	人における1人あたりのコストは、	840	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:	平成29年度入館者数			

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

6月に契約を締結し、屋根葺き替え等の工事を行い、12月15日から一般公開することができた。また、工事風景を来館者にご覧いただけるように、安全に見学できる場所を設定した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	23,352		23,352	23,352	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	24H	1人	30H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○ 国宝文化財等保存整備費補助金事業計画変更承認申請書提出 ○ 保存修理工事契約 ○ 保存修理工事 ○ 文化財関係国庫補助金事業実績報告提出		○ 国宝文化財等保存整備費補助金事業計画変更承認決定 ○ 保存修理工事契約締結 ○ 保存修理工事計画通り実施 ○ 文化財関係国庫補助金事業交付決定・額確定 ○ 国庫補助金納入(同時期に都補助納入)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

修理工事実施時には安全に見学できる場所(中庭)を設定したことから、来館者より屋根葺き替え等の貴重な作業風景が見られ大変好評であり、あらゆる機会を通じた学習活動につながった。
 また、文化財保護審議会会長にも意見をいただきながら、細かな部分まで復元し、完成させることができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

次年度は土壁・土間・畳交換等を修理工事するため、国宝文化財等保存整備費補助金事業計画申請・実績報告を提出し、補助対象として事業を推進していく。今後、重要有形民俗文化財として長年継続するよう細部について調整していく。また、敷地内の倒木等の恐れのある危険樹木を伐採し、旧下田家住宅の維持管理を図っていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部 生涯学習センターゆとろぎ			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大学との連携による講座の充実		平成 21 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	34

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	大学と連携・協力し、大学の知的資源を活用した、質の高い学習機会を提供します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	大学と連携した講座 4事業	同左 講演・講座3事業以上	同左 講演・講座3事業以上	同左 講演・講座3事業以上

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	2人	100 H	2人	100 H	2人	100 H	2人	100 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	360	210	210	210
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	666	666	666	666
総事業費(合計)	1,026	876	876	876
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	180			
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	846	876	876	876
財源内訳(合計)	1,026	876	876	876

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 16 円
 イ 対象者 52,000 人における1人あたりのコストは、 17 円
 ウ 成果(物) 講座参加者の 出来高 400 人 における1人 のコストは 2,190 円
 ※ 対象者: 概ね16歳以上の市民

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

包括連携協定を締結している杏林大学とは公開講演会や市民大学講座だけでなく、杏林大学生の企画した講座を連携して実施するなど7事業を実施した。その他、首都大学東京、駿河台大学及び亜細亜大学の協力をいただき、それぞれ1講座を実施し、いずれの講座も参加者から好評を得た。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	210		210	190	90.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	100 H	2人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
大学と連携した講座 3事業以上	大学と連携した講座 10事業実施

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

大学と連携し、専門性の高い講座を開催することで、市民の学習要望に応え、さらに学習意欲を高めることができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

大学関係者との良好な関係を築き、ネットワークを広げ、大学の知的資源を活用した、質の高い様々な講座・講演会を実施していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部 生涯学習センターゆとろぎ			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	企業等との連携による生涯学習事業、芸術鑑賞事業の実施	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	35

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	企業や財団などと連携・協力し、最先端の科学、技術の紹介講座や、質の高い芸術鑑賞事業を実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	ホール公演 6事業	同左 5事業	同左 5事業	同左 5事業
	講座・講演会 3事業	講座・講演会 2事業	講座・講演会 2事業	講座・講演会 2事業

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	5人	500 H	5人	500 H	5人	500 H	5人	500 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費		500		
人件費(係長職)	498	498	498	498
人件費(主任・主事職)	8,323	8,323	8,323	8,323
総事業費(合計)	8,821	9,321	8,821	8,821
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額		500		
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	8,821	8,821	8,821	8,821
財源内訳(合計)	8,821	9,321	8,821	8,821

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 167 円
 イ 対象者 55,710 人における1人あたりのコストは、 167 円
 ウ 成果(物) 参加者 の 出来高 4,100 人 における1人 のコストは 2,273 円
 ※ 対象者: 一般市民

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

公益財団法人や、市内企業等と連携することで、各団体が保有する専門的な人材やネットワークを活用し、質の高いクラシックコンサートやプロの実演家に指導をいただく講座などを開催し、貴重な機会を市民に提供することができた。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	500		500	118	23.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	5人	500 H	5人	500 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○ホール公演 5事業 ○講座・講演会 2事業		○ホール公演 8事業 ○講座・講演会 3事業

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

プロやその道に精通した出演者等による演奏や舞台・講座は、参加者に与える影響も大きく、市内の文化活動の醸成・発展に欠かすことのできないものであり、あらゆる機会を通じた生涯学習の推進につながるものとなった。また、市内企業との連携により企業と住民の相互理解を深めることにも寄与した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も既存の共催団体だけでなく、様々な団体との共催事業実施に取り組む。また、共催事業は事業経費の抑制にも繋がるため情報収集も行っていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	生涯学習部 生涯学習センターゆとろぎ			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進		平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
01	芸術観賞事業	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
02	展示	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
03	市民講座	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	36

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民組織と協働して、市民ニーズや社会の要請に応えられる生涯学習センターゆとろぎの事業を展開します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市民協働事業の実施 芸術観賞事業 8事業 展示 5事業 市民講座 14事業 協働事業HPの更新等	同左 芸術観賞事業 8事業 展示 5事業 市民講座 10事業 協働事業HPの更新等	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	471 H	1人	471 H	1人	471 H	1人	471 H
主事・主任職	5人	2,335 H	5人	2,335 H	5人	2,335 H	5人	2,335 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	10,386	9,906	9,906	9,906
人件費(係長職)	2,342	2,342	2,342	2,342
人件費(主任・主事職)	38,867	38,867	38,867	38,867
総事業費(合計)	51,595	51,115	51,115	51,115
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	51,595	51,115	51,115	51,115
財源内訳(合計)	51,595	51,115	51,115	51,115

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者: 入館者累計

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

生涯学習センターゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、市民ニーズに沿った各種事業(芸術鑑賞事業、講座事業、展示事業)を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,906		9,906	9,825	99.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	471 H	1人	471 H
主事・主任職	5人	2,335 H	5人	2,335 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○芸術鑑賞事業 8事業 ○展示事業 5事業 ○市民講座 10事業 ○協働事業HPの更新等	⇒ ○芸術鑑賞事業 8事業 ○展示事業 5事業 ○市民講座 10事業 ○協働事業HPの更新等

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市民組織との協働事業は、会員である市民の経験や知識等が企画や運営に生かされ、市民のニーズに即した事業ができるとともに、行政の視点と市民の視点が融合した他に類を見ないゆとりぎの大きな特徴となっており、生涯学習の推進に幅広く寄与している。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も生涯学習センターゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、市民ニーズに沿った各種事業(芸術鑑賞事業、講座事業、展示事業)の充実を図りながら、ゆとりぎ事業の発展に繋げていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部		スポーツ推進課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 スポーツを通じた健康づくりの推進 ※施策11と重複			年			
01	健康づくり教室	不明	年	継続	自治事務(市独自) 業務委託(一部)	○
02	健康・スポーツフォーラム	不明	年	継続	自治事務(市独自) 直営	○
03			年			
04			年			
05			年			
関連課		健康課				
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	37

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民の健康増進を図るとともに、スポーツによって市民相互のふれあいや親睦を深めるため、スポーツを通じた健康づくりのイベントや教室などを開催します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	健康づくり教室 (美BODY教室) ・初心者向け 全6回 延60人 ・ステップアップ 全6回 延100人	同左 1回20人	同左 1回20人	同左 1回20人
	健康・スポーツフォーラム 1回 定員50人	同左 1回	同左 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	1人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	97	91	67	91
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	67	67	67	67
総事業費(合計)	164	158	134	158
国庫支出金				
都支出金	25	25	18	25
受益者負担額	23	20	20	20
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	116	113	96	113
財源内訳(合計)	164	158	134	158

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	3	円		
イ 対象者	70	人における1人あたりのコストは、	2,257	円		
ウ 成果(物)	参加者	の 出来高	70 人	における1人 のコストは	2,257	円

※ 対象者: 事業の参加者

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

健康づくり教室として、メンズエアロビクス及び、ダイエット教室を開催した。また、健康・スポーツフォーラムを健康課と連携し、開催した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	91	1	92	92	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○健康づくり教室 1回 ○健康・スポーツフォーラム 1回	⇒ ○健康づくり教室 2回 ○健康・スポーツフォーラム 1回

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

スポーツを通じた事業及び、スポーツと健康を関連付けた講座を開催することで、心身ともに健康な生活を送るための機会を提供することができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

参加者のニーズの把握に努め、さらに効果的な事業内容を検討するとともに、健康づくりに役立つ知識を分かりやすく習得できるよう、関係課と調整を図りながら事業を進めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活 部		生涯学習総務課		
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 社会教育関係団体の活動の充実に向けた支援			年				
01	社会教育関係団体の登録	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
02	団体・サークルガイドの発行	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
03	社会教育関係団体への補助金の交付	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
04			年				
05			年				
関連課	スポーツ推進課、地域振興課						
基本目標1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	管理No.	38	

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	社会教育関係団体の活動内容を紹介するための団体・サークルガイドを発行するとともに、活動に対する財政支援を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市社会教育関係団体登録要綱、羽村市社会教育関係団体補助金交付規則等

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	団体・サークルガイドの発行	同左	同左	同左
	社会教育関係団体への補助金の交付	同左	同左	同左
	社会教育関係団体の登録の更新			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	1人	40 H	1人	40 H	1人	30 H	1人	30 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	2,340	2,463	2,463	2,463
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)	134	134	100	100
総事業費(合計)	2,524	2,647	2,613	2,613
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,524	2,647	2,613	2,613
財源内訳(合計)	2,524	2,647	2,613	2,613

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	48	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:				

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
既存団体の加入促進については、行政主導から団体の自主努力に基づく支援への転換を図っていく。		

②活動実績

「サークル・団体ガイド」を更新し、町内会や学校、PTAへ配布、公共施設等の窓口で閲覧するとともに、市公式サイトおよび広報はむらで周知した。
 社会教育関係団体補助金については、社会教育委員の会議において平成29年度補助金の審査を行い補助額を確定するとともに、平成30年度の交付審査を行い、補助金額を決定し交付した。
 社会教育関係団体の登録については3年に一度の一斉更新を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,463		2,463	2,371	96.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	1人	40 H	1人	40 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○団体・サークルガイドの発行 ○社会教育関係団体への補助金の交付 ○社会教育関係団体の登録更新	⇒ ○団体・サークルガイドの発行:計260団体(学習・文化系88団体、スポーツ系125団体、文化協会加盟団体47団体) ○社会教育関係団体への補助金の交付:計19団体へ2,365千円(学習・文化系7団体、スポーツ系12団体) ○社会教育関係団体の登録更新:330団体

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

社会教育関係団体へのさまざまな活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習活動の活性化が図れた。また、初心者講座をきっかけに新たな社会教育関係団体が創設されるなど、学んだ成果を生かす活動につなげることができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

更なる社会教育関係団体の発展・充実を図る観点から、引き続き、団体・サークルガイドの発行や活動に対する財政支援、市が主催する初心者講座等を通じて、新たな社会教育関係団体の創設や既存の団体の発展・充実に取り組む。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部			地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 市民ボランティアの育成と支援		平成 23 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	5	生涯学習	管理No.	39

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	ボランティアの質を高め、ボランティア活動が積極的に行えるよう、各種市民ボランティアの養成講座などを実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市民活動ボランティア講座等の実施 1回 東京2020大会に向けたボランティア事業の検討	同左 1回 同左	同左 1回 東京2020大会に向けたボランティア事業の実施 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	16H	1人	16H	1人	16H	1人	16H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	25	15	30	15
人件費(係長職)	80	80	80	80
人件費(主任・主事職)	134	134	134	134
総事業費(合計)	239	229	244	229
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	239	229	244	229
財源内訳(合計)	239	229	244	229

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 0 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) 0 の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者: 0

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の実施(27人参加)
○東京2020大会に向けたボランティア事業の検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	15	▲9	6	0	0.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	16H	1人	16H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の実施 ○東京2020大会に向けたボランティア事業の検討		○「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の実施 ○東京2020大会に向けたボランティア事業の検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を実施し、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動の機会を提供することができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を継続して実施するとともに、東京2020大会に向け、世界の文化講座を実施し、より学習活動の機会を増やしていく。